

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
令和4年度 第1回情報共有会合議事概要

1. 日時：令和4年10月18日(火) 14:00～15:35

2. 会議形式：ウェブ会議システムによるオンライン開催

3. 参加者 37名

北海道大学（1名）、酪農学園大学（2名）、北海道開発局（7名）、北海道運輸局（1名）、札幌管区气象台（1名）、第一管区海上保安本部（1名）、北海道地方環境事務所（2名）、陸上自衛隊北部方面総監部（3名）、北海道（6名）、エネルギー・環境・地質研究所（1名）、札幌市（1名）、北広島市（1名）、日本測量協会北海道支部（2名）、北海道測量設計業協会（1名）、北海道G空間情報技術研究会（1名）、建設コンサルタンツ協会北海道支部（1名）、北海道産学官研究フォーラム（1名）、Digital北海道研究会（1名）、スペーシャリストの会（1名）、国土地理院（2名）

4. 議事

- ① 国土地理院北海道地方測量部長挨拶
- ② 情報共有会合について（設置の経緯ほか）
- ③ 国土地理院からの話題提供
第4期地理空間情報活用推進基本計画について
- ④ 全体討論
- ⑤ 事務局まとめ
- ⑥ その他（報告事項など）

5. 議事概要

話題提供として、北海道地方測量部から「第4期地理空間情報活用推進基本計画について」について、概要説明を行なった。

全体討論において、参加者による事前アンケート結果に基づき、今年度開催予定の情報共有会合における話題について討論し、次回以降の情報共有会合開催に向けて、参加者からの意見を踏まえた話題を設定することを確認した。

事前アンケートで回答のあった事項の内、地理教育・人材育成については、今年度から必修となった高校地理総合について、GISも含まれていることから、先生に対して技術的な内容やデータの取得に関する支援が必要との意見があった。地理の先生の中には、地理以外の分野を専門の方もおり、地図に関する注意点（地図投影法など）の説明が望ましいのではという意見があった。

新技術については、リモートセンシングの小型衛星が打ち上がることで、北

海道にどのような波及効果があるのか、専門家を呼んで取り上げてもらいたいという意見があった。

データの利活用・整備については、地理空間情報に関するシステムやサイト等について、利用増加の事例を紹介して欲しいとの意見があり、地理院地図をタイルで提供したことにより外部サイトからの利用が増えた事例を紹介した。

6. その他（報告事項など）

事務局から、北海道地方測量部ホームページにて公開中のイベントカレンダーへの情報提供について報告した。

次回の情報共有会合について、2月頃を目途にオンライン開催することを確認した。